

もくじ

- MRI棟 (仮称) の建設が始まります ①
- 診療科紹介 救命救急センター 救急科 ②
- 診療科紹介 皮膚科 ③
- チーム医療の紹介 緩和ケアチーム ④



MRI棟 (仮称) の建設が始まります

県立加古川医療センターは、平成21年11月に移転開院してから6年以上が経過しました。この間、患者数は当初の計画を超え、特にMRI検査の待ち日数が約30日となっているため、3テスラのMRIを増設することとしました。また、医師・看護師等の職員も増えたため、研修室、会議室も不足しています。

さらに、近隣にある甲南加古川病院から平成28年4月にはリウマチ機能を、12月には透析機能の移管を受けることとしており、そのためのスペースも必要となっています。

こうした状況に対処するため、新たに本館東側にある地下部分の駐車場に「MRI棟 (仮称)」を建設することとしました。

その概要は次のとおりです。

| | |
|--------|-----------------------------------|
| ● 工期 | 平成28年2～11月 |
| ● 供用開始 | 平成28年12月1日 |
| ● 構造規模 | 鉄筋コンクリート造 延床面積 1733㎡、敷地面積 590㎡ |
| ● 各階配置 | |
| 2階 | 研修室、会議室、細菌検査室 |
| 1階 | MRI検査室、リウマチ外来 |
| 地下 | 透析室 |

加古川医療センターでは、これまでドクターヘリの運航開始に伴う格納庫棟の建設や、患者増加に伴う外来診察室の増設、駐車場の整備（690台→940台）、CTの増設等を進めてきました。

しかし、患者・ご家族の方からは「まだまだ駐車場が混雑する」「休憩できるスペースが無い」「採血室が狭い」「検査の待ち時間（日数）が長い」等のご意見をいただいています。患者さんに高度専門医療を提供していく上で、また患者サービスの向上を図るためには、施設や医療機器の整備は重要と考えており、少しずつではありますが実現していくこととしています。その具体例として、この4月に採血室を拡充することとしました。現在、朝8時過ぎから多くの患者さんが来られ、待ち時間が長くなっていますが、これを解消したいと考えています。

今後とも施設・設備・医療機器の整備を進め、さらに充実した医療を提供していくこととしていますので、医療機関の先生方、関係機関の皆様におかれましては、加古川医療センターへのさらなるご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。